

広報 いずも

第31号 平成18年(2006)6月22日発行

冊子は、乳幼児健診のときにお渡しします。また、市内の小児科医院などにもあります。



子ども急病にあわてないために

「子どもの急病」ハンドブックを作成



健康管理や応急処置などについて不安があれば、健診などの機会を利用して、医師や保健師に相談しておきましょう

子どもの具合が急に悪くなったとき、どうしますか。心配で、一刻も早くお医者さんに診てもらいたいところですね。

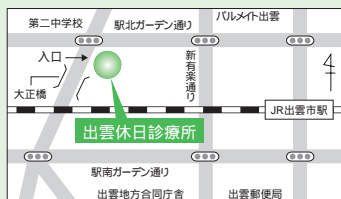
一方で、救急外来を受診する15歳未満の患者のうち、9割は軽症との報告があります。本当に緊急性の高い重症患者が長時間待たなければならぬ状況も起こっています。

そこで、市や出雲医師会などによる出雲地域小児救急医療検討会議では、『どうする子どもの急病』上手なお医者さんのかかり方を『すくすく』を作成。『すくすく』は、病院へ『しばらく様子を見て大丈夫』などの見分け方を、症状ごとに紹介しています。

また、出雲休日診療所(塩治善行町)では、小児科専門医による『小児夜間診療』を行っています。こちらもぜひご利用ください。

出雲休日診療所 小児夜間診療

実施日：週4日(月・火・木・金)
受付：19:30~21:30
ところ：塩治善行町1
電話：22-5543



目次

基本健康診査	2~4
お知らせコーナー	10~11
いずもの話題	12
7月の相談	13